

記入例

耐震診断現地調査表 (精密診断その1用)

特定非営利活動法人

日本住宅性能調査協会

■この調査表は国土交通省監修の「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づいて製作されたものです。

地域コード NH16000X	診断番号 H161200X	調査員名 日本太郎	登録番号 ・第150001	現調日 平成16年12月5日(日)
調査物件名 モデルケース A	様邸			TEL FAX
物件所在地	(〒 -) 都道 新潟府(県)長岡区(市)郡町 六日市町 〇〇			

● 建物形状

構法	<input checked="" type="checkbox"/> 木造軸組	<input type="checkbox"/> 2×4	<input type="checkbox"/> 伝統工法	<input type="checkbox"/> 混構造(IF RC,S)	<input type="checkbox"/> その他
建物形状	<input type="checkbox"/> 平屋建て	<input checked="" type="checkbox"/> 2階建て	<input type="checkbox"/> 総2階建て	<input type="checkbox"/> 3階建て	<input type="checkbox"/> その他
屋根形状	<input checked="" type="checkbox"/> 切妻	<input type="checkbox"/> 寄棟	<input type="checkbox"/> 入母屋	<input type="checkbox"/> 片流れ	<input type="checkbox"/> 陸屋根

● 地盤の種類 [該当する項目の□にレを付し、必要に応じて注意事項等を備考欄に指摘する。]

地盤	施されている対策の程度	備考欄
<input checked="" type="checkbox"/> よい		
<input type="checkbox"/> 普通		
<input type="checkbox"/> 悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表面の地盤改良を行っている 杭基礎である	
	特別な対策を行っていない	
<input type="checkbox"/> 著しく悪い		

● 基礎の形式 [該当する項目の□にレを付し、目立った現象は図面に記載してください。]

基礎形式	状態	基礎の仕様	備考欄
鉄筋コンクリート基礎 (布基礎、ベタ基礎)	<input type="checkbox"/> 健全	基礎Ⅰ	
	<input checked="" type="checkbox"/> ひび割れが生じている	基礎Ⅱ	3ヶ所 換気口部分 写真①~③ ④⑤
無筋コンクリート基礎	<input type="checkbox"/> 健全		
	<input type="checkbox"/> ひび割れが生じている		
玉石基礎	<input type="checkbox"/> 足固めあり	基礎Ⅲ	
	<input type="checkbox"/> 足固めなし		
その他の基礎	<input type="checkbox"/> ブロック基礎など		

● 屋根仕上 [該当する項目の□にレを付し、必要に応じて注意事項等を備考欄に指摘する。]

仕様	仕様の例	備考欄
<input type="checkbox"/> 軽い建物	屋根：着色セメント瓦葺、鉄板葺 外壁：ラスモルタル塗り 内壁：石膏ボード張り	
<input checked="" type="checkbox"/> 重い建物	屋根：桧瓦葺 外壁：土塗壁 内壁：石膏ボード張り	
<input type="checkbox"/> 非常に重い建物	屋根：土葺き瓦葺 外壁：土塗壁 内壁：土塗壁	

● 外壁仕上 [外壁タイプ No.を図面に記載してください。]

外壁タイプ		仕 様 (下の仕様タイプ欄の番号記入)
外壁タイプ1 (G-1)	仕 上	モルタル ()
	下 地	木あり ()
外壁タイプ2 (G-2)	仕 上	()
	下 地	()
外壁タイプ3 (G-3)	仕 上	()
	下 地	()

● 内壁仕上 [内壁タイプ No.を図面に記載してください。 記入例 タイプ1の場合 **1** と記入]

内壁タイプ		仕 様 (下の工法の種類の番号記入 筋かいは除く)
内壁タイプ1 (K-1)	仕 上	プラスターボード ()
	下 地	胴縁 ()
内壁タイプ2 (K-2)	仕 上	ラスボードモルタル 京壁仕上 ()
	下 地	()
内壁タイプ3 (K-3)	仕 上	4mm 合板 ()
	下 地	()
内壁タイプ4 (K-4)	仕 上	()
	下 地	()

【工法の種類】

別紙工法の種類参照 (テキスト P55, 56, 57)

但し、該当する種類が表の中に無い場合は、実際の仕上、下地の種類を記入してください。

● 筋かい

筋交いの種類を図面に記載してください。 [筋かいマークは別紙を参照]

● 木製筋かいの接合仕様

金物等の種類を図面に記載してください。 [金物等のマークは別紙を参照]

● 開口部の種類

開口部の種類を図面に記載してください。 [開口部の種類のマークは別紙を参照]

● 柱脚柱頭接合部の仕様

接合部の種類を図面に記載してください。 [接合部マークは別紙を参照]

● 水平構面の仕様 (屋根)

屋根仕様 No.を図面に記載してください。 [屋根仕様タイプは別紙を参照]

屋根仕様		仕 様 (下の仕様タイプ欄の番号記入)
屋根仕様1 (R-1)	面材張り屋根面	15 (4寸勾配, @455 垂木)
	火打ち	22 ()
屋根仕様2 (R-2)	面材張り屋根面	()
	火打ち	()

● 水平構面の仕様 (床)

床仕様 No.を図面に記載してください。 [床仕様タイプは別紙を参照]

床タイプ	仕 様 (下の仕様タイプ欄の番号記入)	
床仕様 1 (F-1)	面材張り床面	9 (フロ-リレ7" 12.5mm)
	火 打 ち	22 ()
床仕様 2 (F-2)	面材張り床面	11 (杉 葺 板 12mm)
	火 打 ち	22 ()
床仕様 3 (F-3)	面材張り床面	()
	火 打 ち	()
床仕様 4 (F-4)	面材張り床面	()
	火 打 ち	()

● 壁部材の劣化の程度 [劣化部位、劣化の程度(マーク)を図面に記載して下さい。]

劣化の程度	劣化マーク	備 考 欄
<input checked="" type="checkbox"/> 劣化が認められない	R 1	
<input type="checkbox"/> 部材に部分的な劣化が認められる。 (ドライバーが刺さる、部材の腐れが見られるなど)	R 2	
<input type="checkbox"/> 部材に著しい劣化が認められる。 (ドライバーが簡単に深く刺さる、部材が劣化して接合部の耐力がないなど)	R 3	

● 各部のチェック [該当する項目の□にレを付し、必要に応じて注意事項等を備考欄に指摘する。]

地 盤	備 考 欄
<input type="checkbox"/> 敷地が傾斜地で、敷地内に盛り土、切り土部分がある	
<input type="checkbox"/> 建物周囲に、1.5m以上の擁壁がある。	
<input checked="" type="checkbox"/> 付近は液状化の可能性があるとされている地域である。	
<input type="checkbox"/> 田畑の造成地で、造成後5年以内である。	
<input type="checkbox"/> 河川・湖沼・池などの埋立地である。	
<input type="checkbox"/> スウェーデン式サウンディング試験等で、地耐力 30 k N/m ² 以下の層が 3m 以上ある。	

水平構面の損傷	備 考 欄
<input type="checkbox"/> 平面に凹凸が多い。	
<input type="checkbox"/> 2階又は3階が荒板などの床で、住宅巾の 1/2 以上の大きな吹抜けがある。	
<input type="checkbox"/> 短辺が 4m を超える大きな吹抜けがある。	
<input type="checkbox"/> 2階の直下に壁がない外周壁が 2面以上ある。(ただし、枠組壁工法を除く)	
<input type="checkbox"/> 部分 2階建てで、2階の直下部分に壁がない。	

横架材接合部	備 考 欄
<input checked="" type="checkbox"/> 12 畳以上の大きな部屋がある。	
<input type="checkbox"/> 母屋部分より、下家部分に壁が多い。	
<input type="checkbox"/> 羽子板ボルトなどの横架材接合部に補強金物がない。	

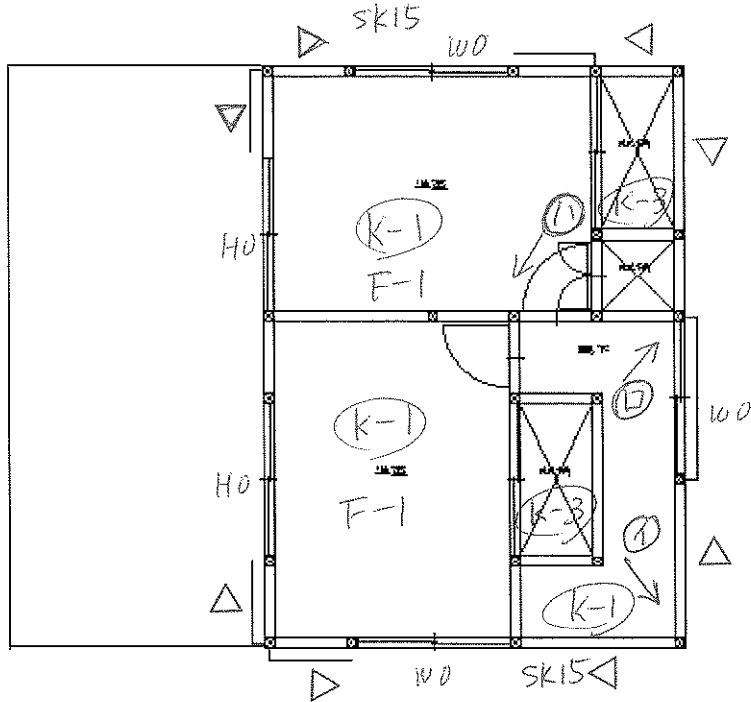
屋根葺き材の仕様		損傷の可能性	備 考 欄
瓦等	棟瓦	<input type="checkbox"/> 補強棟	脱落の可能性は小さい
		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外	脱落の可能性が大きい
	平瓦	<input type="checkbox"/> 全てを留めつけ	安全です
		<input checked="" type="checkbox"/> 3~4 段毎の留めつけ	一応安全です
		<input type="checkbox"/> 留めつけなし	脱落の可能性がある
金属版葺き		<input type="checkbox"/> 瓦棒等	安全です

モデル住宅A邸 平面図 現地調査記録

2F外壁
G-1

内壁
K-1
70727-ボト

床
F-1
72-127



2F屋根
R-1

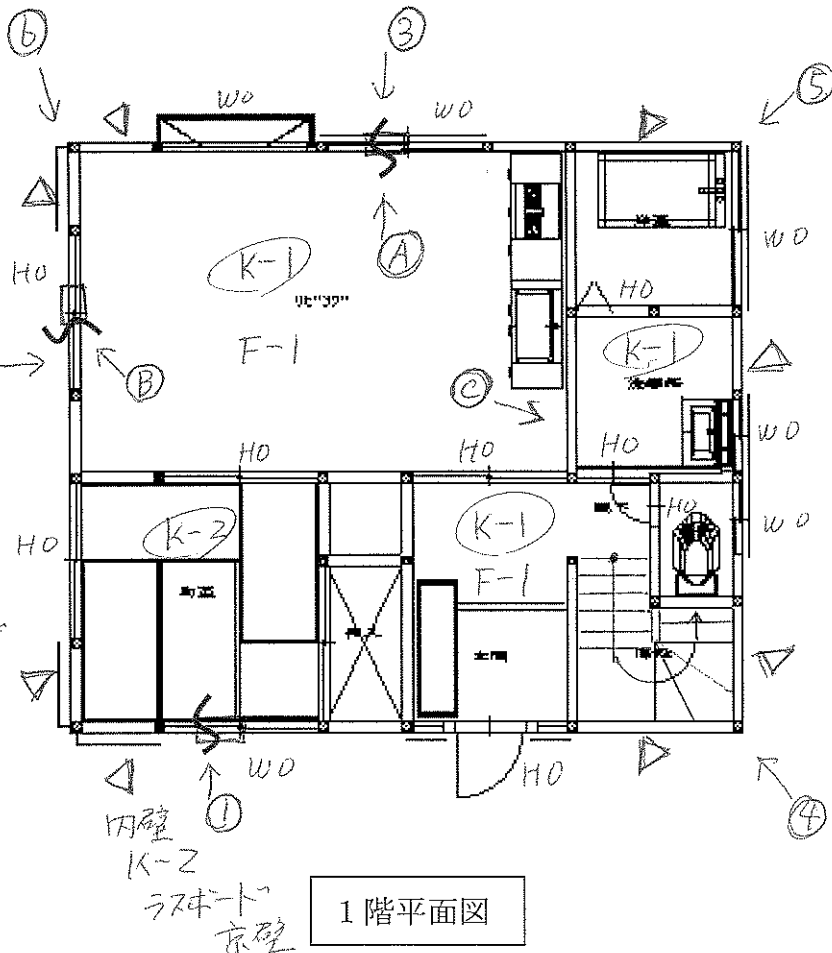
2階平面図

1F外壁
G-1

内壁
K-1
70727-ボト

床
F-1
72-117

F-2
793



~布基礎必要割

1F下層
R-1

1階平面図